

2011年(平成23年)10月29日 土曜日

# 高屋古仁 被災地への義援金届ける 文化祭でチャリティーバザー



東日本大震災への義援金を房町長に届けた原生徒会長  
＝写真中央＝と荷福校長

瀬戸内町の古仁屋高 1万83325円を同町  
校生徒会は28日、この 役場に届けた。  
ほど開催した文化祭の 義援金は23日にあつ  
中で集めた東日本大震 た「第57回古仁屋高校  
災の被災地への義援金 文化祭」の中で、生徒

らが実施したチャリティー物品バザーの売上金。チャリティーバザーは、文化祭テーマである「結いの精神」に基づき、保護者らの協力も得ながら、生徒が主体となり行ったもの。  
同日は、生徒146人を代表し、同校2年生で生徒会長の原健人君(17)が町役場を訪問し、房克臣町長に義援金を手渡した。荷福章義校長も引率した。房町長は「町内の高校生が、このような活動を行ってくれたことを誇りに思う。本当に

うれしい」と笑顔。荷福校長も「生徒達には日頃から、『困っている人に手を差し伸べられるような人間になつてほしい』と伝えている。生徒が主体的にチャリティー活動に取り組んでくれたことを評価したい」と喜んだ。  
原生徒会長は「瀬戸内町と被災した福島県南相馬市の旧小高町は姉妹都市盟約を結んでおり、つながりのあるまち同士。少しでも被災者のために役立てられればうれしい」と述べた。  
同町によると、一時的に預かった義援金は、担当職員が南相馬市の義援金口座に直接、振り込むという。